



1面 目次/TIFA 活動展終了 2面 105日間地球一周の旅 3面 「ザンビアのクリスマス&正月」/世界の料理「ベトナム編」を楽しもう(予告) 4面 日本語教室NOW「初級日本語ボランティア養成講座」/とりでひなまつりツアーのお知らせ/日本人のひとりごと/新会員紹介

TIFA 活動展終了

TIFA では毎年、取手駅ギャラリーロード、藤代駅橋上ギャラリーで取手市民の皆様に TIFA の活動を知ってもらうため、活動展を開いています。今年は1月13日(水)～1月19日(火)取手駅で、1月20日(水)～1月26日(火)藤代駅で活動展を開きました。

昨年末 TIFA 各部の担当者が集まり、合計模造紙 28 枚のパネルを作成しました。各パネルとも力作そろいで各部の活動が分かりやすく、見た目にも魅力あるパネルに仕上がりました。

展示作業をしている間にも、通行中の市民の方から展示されていた活動内容の詳細を聞かれたり、取手市在住の外国出身者に関する質問を受けたり、皆様には関心を持って展示パネルをみていただきました。

又、JICA の協力を得て、海外で活躍している海外青年協力隊の活動も紹介しました。この TIFA 活動展が多くの取手市民の皆様目に触れ、TIFA 活動への理解が広がることを期待しています。

(広報部 鈴木忠男)



取手駅ギャラリーロード



藤代駅橋上ギャラリー

「百五日間地球一周」(2015年4月12日~7月25日)

子供の頃「八十日間世界一周」という本を読んだことがあります。しかし今回私が乗った客船は北回り、中央回り、南回りの3種類があり、3回とも乗船して初めて世界一周してきたと言えるのだそうです。と言う訳で、北回りを選んだ私の場合は世界一周ではなく地球一周です。乗船客は約千人。その8割が60代以上。そしてリピーターが4割もいました。なぜそんなに人気なのかというと、他の豪華客船と違って値段が安いのです。

値段が安いので豪華客船のような豪勢な企画はまったくありませんでした。全てボランティアスタッフや乗船客の自主企画により長い船旅が成り立っていました。船内にはたくさんのいろいろな自主企画がありましたが、私も先ず最初に「日本語ボランティア入門」講座を立ち上げ、そこで出会った日本語ボランティア希望者に「にほんごカフェ」を手伝ってもらいました。

「にほんごカフェ」は日本語教室のように担当者を決めて日本語を教えるのではなく、みんな楽しくおしゃべりしながら生活に役立つ日本語を教えていくやり方です。学習者は主に乗船客の中国人や台湾人、時にはブラジル人も来てくれましたが、カナダ人、フィリピン人など船内の英会話の先生たちもたまに参加してくれました。

毎回担当ボランティアを変え、船酔いなどの船内生活における経験や寄港地での体験など、学習者がみんなに話したいこと、聞いてもらいたいことを話題として取り上げ、レベルごとのグループに分かれて、グループごとに楽しくおしゃべりしました。時には船内での恋の病について相談されることもあったのですが、そういう話題になるとみんな興味津々で、いろんなアドバイスが飛び交いました。



私の乗った客船

私もまた、船内で働く外国人クルーたちにその国の挨拶の言葉などを教わりましたが、「スラムパギ」「ブエノスディアス」「マガンダンウマガ」など、なかなか覚えられず、日本語教室に来る学習者たちが日本語を覚えていくことの大変さがよくわかりました。ある日、前に教わった「スバプロワット」がなかなか出て来なくて詰まっていると、ネパール人クルーが「忘れちゃった〜?」と日本語で返してきたのでびっくりしました。繰り返し教わったのですが、頭に記憶して使えるようになるまでかなり時間が掛かりました。

今回いろんな国の人たちと国際交流できたことはこの上ない幸せでした。とても良い経験をしたと思っています。この経験を次につなげていくつもりです。

(日本語教室部 後藤悦子)

アフリカ からの便り 「ザンビアのクリスマス・正月」

JICA シニアボランティアとしてザンビア首都ルサカに派遣されて 3 ヶ月経ちました。南半球でのお正月は 2 度目ですので、暑いクリスマス・正月に特別違和感はありません。ザンビアはキリスト教徒が人口の約 8 割といわれますが、実際の感覚としては、ザンビア在住の外国人を除けばほぼ 100%がキリスト教徒ではないかと思うくらい非常に多く、クリスマスは盛大にお祝いします。11 月中から市内のショッピングモールではクリスマスの飾りつけがされ、店員さんは赤い帽子をかぶり、ジングルベルが鳴り響きます。そして 12 月クリスマスが近づくと、スーパーは大勢の人でごったがえしています。ザンビアはこれまで私が暮らした外国の中では最貧国のはずですが、カート一杯にした人々の買物ぶりには圧倒されます。



私はキリスト教徒ではありませんが、教会の雰囲気が好きで、日曜日予定がないとき、時に教会巡りをします。昨年クリスマス 25 日近所の教会に出かけました。正装をした多くの信者が一杯で、9 時から 12 時までたっぷりミサがありました。これまでの教会と違っていたのは、最初から最後まで音楽(ルンバ調)が歌われ、参列者も立ち上がって一緒に唱和し、時には一緒に体をゆすり、また掛け声がかかります。まことに賑やかなミサでした。



新年は泊まりに来た協力隊同期隊員と迎えました。カウントダウンとともに、0 時を過ぎると盛大な花火が夜空を覆い、あわせて爆竹とも銃声ともとれる音がしていました。1 時を過ぎるとさしもの花火もおとなしくなり、静かな新年となり睡眠につきました。

(JICA シニアボランティア 松元 俊)

世界の料理「ベトナム編」を楽しもう ～予告～

毎回好評をいただいている、「世界の料理」を楽しむ会を下記のように開催します。今回は「ベトナム料理」です。ベトナムから日本に来て、現在日本語教室戸頭で日本語を勉強している、学習者の皆さんに教えていただきます。

日時	2016 年 2 月 21 日 (日)	午前 10 : 00 ~ 15 : 00
場所	井野公民館	調理室
募集人	先着 25 名 (別枠で試食のみの参加者 10 名可)	
参加費用	700 円/人 (TIFA 会員は 300 円/人)	
携帯するもの	エプロン、三角巾	
申込み	0297-74-3824	佐々木まで



日本語ボランティア養成講座の受講は二回目ですが、最初の養成講座では何が何だかわからず、授業について行くのがやっとと言う感じでした。授業は「みんなの日本語初級Ⅰ」の各課にしたがって丁寧に分かりやすく教えていただき、教え方の理解がより深まりました。先生はお名前に「万」の文字が入っているように「万葉集」に詳しく、余談としてときどきそのお話をしてくださいました。日本語学習の初期には「ひらがな」を教えることとなりますが、万葉仮名は「仮名」の起源と考えられているそうです。

後半の授業では、私達受講生が各グループに分かれ模擬授業を体験しました。これは実際に現場で教えることを想定した学習です。生徒役側が、つい難しい日本語で返事をしてしまったり、反対にわざと言葉が理解できないフリをしたりして、先生役側を困らせる場面もあって、周りの受講者から笑い声があがりました。模擬授業の講評で「スムーズに進むだけが勉強ではない」とのアドバイスもいただきました。

この講座で教えていただいたことをしっかり身に着け、日本語教室が「外国出身者が日本での生活を楽しく暮らすためのお手伝いをする場」となるように頑張りたいと思っています。



模擬授業の様子 右端が布浦万代先生

(日本語教室部 五十嵐賢次)

ひなまつりツアーのお知らせ

取手市では毎年「ひなまつり」イベントを開催しています。今年は2月11日～3月3日まで行われます。

TIFA では下記のように「ひなまつりツアー」を企画しました。TIFA の会員がご案内します。参加費は無料です。多くの外国出身者の参加をお待ちしています。

開催日	2月28日(日)
集合場所 時間	取手駅東口改札前 午前10:30
対象	外国出身者と家族、知人(日本人も可)
申込み	0297-74-3824 佐々木まで

新会員紹介(敬称略)

- チェトリ・ヒーム・バハドル
- カティ・ヤム・バハドル
- タジマ・ジョナタス
- タジマ・ソフィア
- タジマ・ジウリオ
- タジマ・サウリエダ
- 福原・シリカーン
- 宋・麗

日本人のひとりごと

- 多くの日本人が毎年1月、年の始めに神社に初詣をします。今年一年の無事をお願いし、おみくじを引いて「大吉」だ「小吉」だと喜んだり、残念がったりしています。
- 外国にはこのような習慣があるのでしょうか？私は妻と一緒に一言主神社にお参りし、今年1年健康に過ごさせて下さいとお願いしました。TIFAの外国出身会員の皆様はどのように新年を迎えられたのでしょうか？

連絡先：取手市国際交流協会事務局 取手市役所秘書課内

TEL:0297-74-2141 内線 1112

FAX:0297-73-5995

E-Mail:hisho@city.toride.ibaraki.jp ホームページ:http://www.tifa-japan.com